学校番号	３０２０B

平成 31 年度　　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育㋐	単位数	1	年次	2
使用教科書	「子どもの発達と保育」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を通して、子どもの衣服や生活と養護を確認していきます。積極的に取り組みましょう。
・親子交流実習・施設見学を通して、幼児の観察を行います。意欲的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見い出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり，子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して，子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等 ・定期考査	・実習レポート ・実習製作物 ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等 ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="2">発達と乳幼児期の意義・子どもの精神発達</td><td>学ぶにあたって
子どもの発達</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a.発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。

b.子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。
c.実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。
d.子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。</td><td rowspan="2">・授業プリント
・ワークシート
・実習レポート
・実習製作物
・観察等
・考査</td></tr>
<tr><td>親子交流実習</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>子どもの生活と養護</td><td>子どもの食事</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>a.子どもの食生活について、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。
b.乳汁栄養から離乳食、幼児食へと進む発育・発達に応じた食事のあり方についてまとめたり、発表したりしている。乳幼児期の食生活の特徴を把握し、献立を立案することができる。
d.乳幼児期の食生活の特徴を理解している。</td><td>・授業プリント
・ワークシート
・実習レポート
・実習製作物
・観察等
・考査</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。